

MIYAKICHI

オリジナルファサード構法

構造で魅せる、

2種類のガラスファサード

SSG接着構法は、ガラスを構造用シーリング材によって直接フレームに固定することで押縁や金物を一切見せないフラットな外観を実現するガラスファサード構法です。従来はガラス×ガラスの接着が主流でしたが、アルミ型材へ接着をすることでコストダウンとメンテナンス性向上をしています。

エッジスリット構法は、事前にガラス製作工場にて金物をガラスへ接着、ユニット化することで現場工程の短縮・品質の統一化を実現しました。

どちらの構法も耐風圧・耐震性を考慮した構造設計が可能でカーテンウォール・ファサードへの高い適応性を持っております。



宮吉硝子株式会社 〒466-0059 名古屋市昭和区福江三丁目7番2号

開発2部

TEL / **052-872-2333** Mail / infokenzai@miyakichi.co.jp

建築設計のエンジニア・建築事業

建築家・建築士の方々が描かれたプランを実現するため、ガラス建材のフルオーダーメイドに対応いたします。既製のガラス建材の組み合わせでは実現不可能な設計プランも、オーダーメイドを視野に入れば実現の可能性は大きく広がります。海外の工場での生産を提案させていただく場合は、製造工程から、品質確認、輸入にいたるまでを弊社スタッフが責任を持って管理し、高いクオリティの製品を適正コストで調達するお手伝いをさせていただきます。また施工現場状況に応じて施工機・施工器具の開発もします。

■ FEM 解析例

建材厚向け傘形状ガラス強度検討結果

1. 目的

建材厚に提示する傘形状ガラスについて、強制曲げ(ロードベント)した際の変位および応力を確認します。

2. 検討ガラス

- ガラス構成 : 化学強化ガラス
- ガラス厚み : 1.1mm

3. 検討ガラス図面

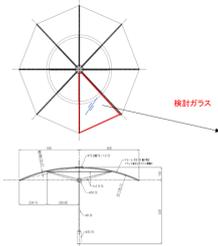


図1 傘形状ガラス図面

4. 検討結果

下部のガラスを傘形状に強制曲げ(ロードベント)した結果、ガラスの最大発生応力は下記の通りです。

- 最大発生応力度 $\sigma = 42.3(\text{MPa})$

FEM解析による変位・応力コンター図を次頁に添付します。

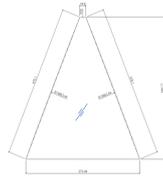
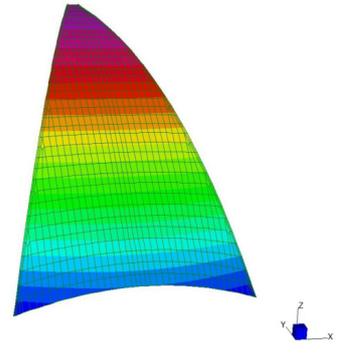
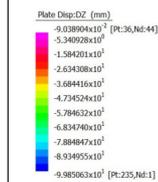


図2 ガラス形状

変位コンター図



■ 施工事例



海外分野 上海宮吉貿易有限公司

現地駐在の日本人スタッフが日本および諸外国向けにガラスをはじめとした、建築金物全般の調達を行います。

日本の品質を満たす優良サプライヤーとの連携により、国内では実現できない意匠や価格を実現いたします。

MIYKICHI GLASS
BUSINESS
FIELD 03